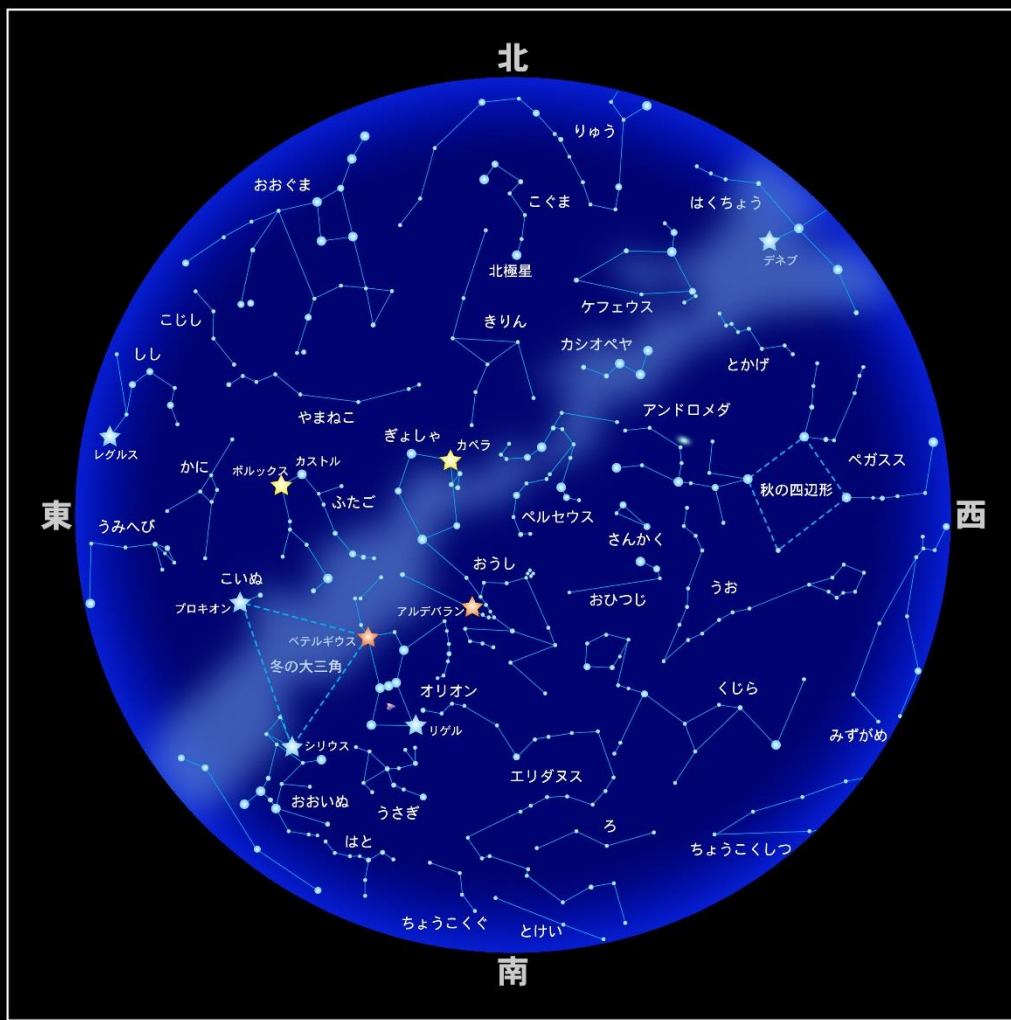


泉大津の冬の星座を みんなで楽しみましょう！

1月中旬午後8時頃 東京の星空

January



※惑星・月は表示していません。

国立天文台

国立天文台「各月ごとの星空イラスト」(2024年1月6日時点)

<https://www.nao.ac.jp/gallery/chart-list.html>

最近の冬は暖冬傾向ですが、日が沈むと冷え込みが厳しくなります。反面、天上にはオリオン・おおいぬ・こいぬ・ふたご・おうし座などの星々が輝きを競います。

☆日本で1年の間に見える1等星は約16個。そのうち7個（冬のダイアモンド）の星々とベテルギウス）が見られます。

また、今回の観望会当日（1月20日）には上弦過ぎの月が散開星団プレアデス（すばる）の近くにあり、すばるやおうし座・アルデバラン（1等星）が見つかりやすいでしょう。

冬の星空観望会（東陽ふれあいネット主催）

開催日時 2024年1月20日（土）

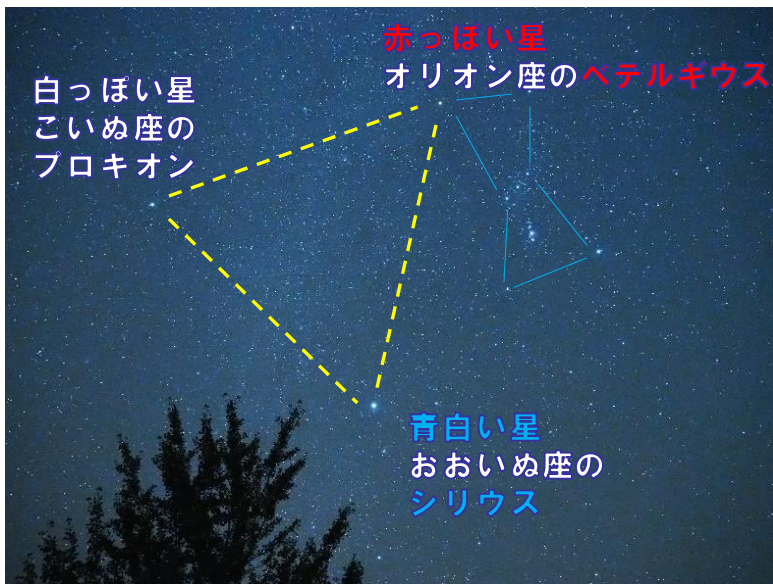
18:00～20:00

会場 泉大津市東陽中学校運動場

（駐車場は有りません。徒歩・自転車でお越し下さい。正門より玄関を通過して運動場へ）



冬の星座探しの目印は 冬の大三角



赤っぽい色のオリオン座のベテルギウス、夜空で最も明るく輝くおおいぬ座のシリウス（和名：狼狽星）、そしてこいぬ座のプロキオンの明るい1等星を結んでできる三角形を「冬の大三角」と呼んでいます。

シリウスは全天で最も明るくキラキラと輝いていますので見つけやすい星です。シリウスを見つけたら、手を伸ばして指でVサインを作り当てると、指先にプロキオンとベテルギウスが見つかります。

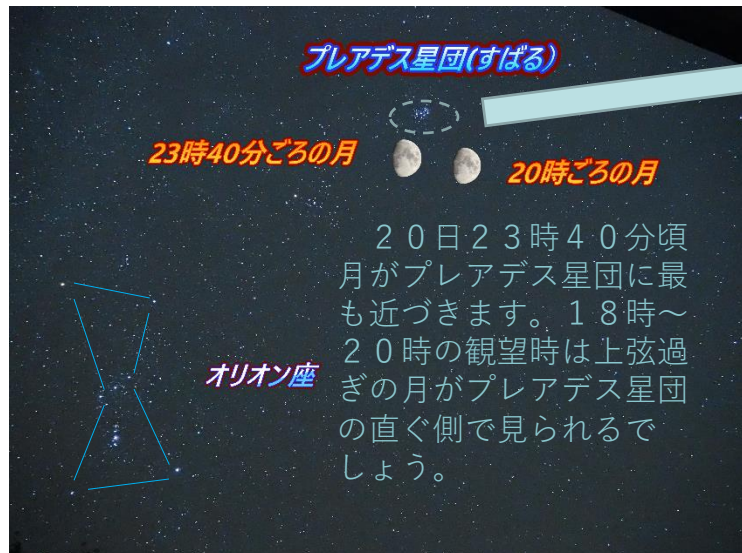
冬の星座探し もう一つの目印は 冬のダイアモンド



冬の大三角の他に冬の星座探しの目安になるのが「冬のダイアモンド（冬のダイヤモンドとも）」です。

冬の夜空には沢山の1等星が見られ、その星々を自由に結びつけて楽しむことも出来ますが、中でも左の図の様に6個の1等星を結びつけて出来る「冬のダイアモンド」が解りやすいでしょう。

20日深夜には 月がプレアデス星団をかすめる



プレアデス星団
(すばる)



望遠鏡で
木星も見よう！